

# 広報 川越

No.1281

平成24年10月25日

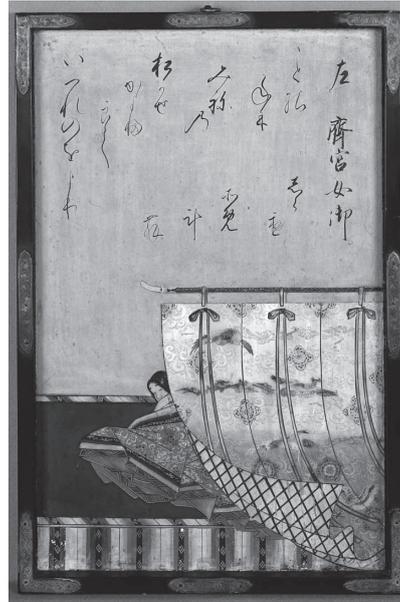
市立美術館開館10周年・市制施行90周年記念特別展Ⅲ

## 小江戸川越 江戸絵画 —職人尽絵と三十六歌仙額—

11月6日(火)～12月16日(日) (月曜日は休館)



狩野吉信「職人尽絵 糸師」  
江戸時代(17世紀) 喜多院蔵(重要文化財)



岩佐又兵衛「三十六歌仙額 斎宮女御」  
寛永17年(1640) 仙波東照宮蔵(重要文化財)

### 川越ゆかりの近世絵画が勢ぞろい

市立美術館 ☎228-8080

市立美術館では、川越が誇る重要文化財、狩野吉信の「職人尽絵」(喜多院蔵)と岩佐又兵衛の「三十六歌仙額」(仙波東照宮蔵)の2作品を展示します！

江戸時代、川越は江戸城北辺の守りとして重視され、親藩・譜代といった有力な大名の支配のもと整備が進められました。この時代はまた、川越に近世絵画の名品がもたらされた時代でもあります。「職人尽絵」を所蔵する喜多院は、徳川家康に重用された天海が住持し、「三十六歌仙額」を所蔵する仙波東照宮(当時は東照社)は、家康没後に喜多院の領内に建てられました。

今回の特別展では、これら2つの作品を中心に、伝狩野探幽「鷹絵額」(仙波東照宮蔵、県指定文化財)をはじめとする同時代の作品を紹介し、川越が育んできた近世絵画の魅力に迫ります。郷土に伝わった宝物の素晴らしさを堪能してください。また、関連イベントは11ページで紹介しています。

観覧料…大人=600円(480円)

大学生・高校生=300円(240円)

中学生以下・障害者手帳をお持ちの方と介添者1人=無料

\* ( )は20人以上の団体料金。

\* 毎月18日の「川越きもの日」と8日、28日に着物で来館された方は団体料金。

\* 11月14日(水)の県民の日、12月1日(土)の市民の日と翌2日(日)は観覧無料。

●「市議会だより」が折り込まれています。  
\* 25日発行の広報川越は、翌月の行事などをお知らせしています。

平成24年度かわごえ都市景観表彰…6

都市景観デザイン賞5件、都市景観ポイント賞1件が受賞。

今年11月25日(日)に開催。

小江戸川越マラソン2012…5

環境について楽しみながら学べるイベントが盛りだくさん。

つばさ館まつり2012…3